



群馬のスポーツ人 ⑩

冬のマッキンリーに消えた男

やま だ

山 田

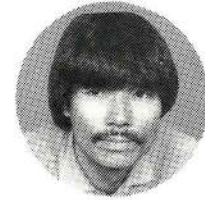


山田昇の登った山(群馬県岳連50年誌参考)
 ラトック山群1周、ダウラギリ1峰(8167m)、カンチェンジュンガ縦走(8598m)、ランタン・リ(7205m)、ナンタ・カド(6611m)、マナスル(8163m)、ローツェ(8511m)、エベレスト(8848m)、マモストン・カンリ(7516m)、アンナプルナ1峰(8091m)、K2(8611m)、エベレスト・マナスル8000m級無酸素登頂日本人初ハットトリック達成、チョモランマ(8848m)、マッキンリー(6194m)、B.C(4200m)、アコンカグア(6959m)、キリマンジャロ(5895m)、シジャパンマ(8013m)、チョーオユ(8201m)

山田昇は、1950(昭和25)年2月29日、魔の山・谷川岳に近い沼田市久屋原町の農家の6人兄弟の末っ子として生まれた。豊富な自然に囲まれ、山登りに親しんだのは沼田高の山岳部に入ってから。訓練を通して明るく、積極的な山田は、職訓校、就職した川崎の機械メーカー時代も山岳部に所属、さらに故郷沼田山岳会員として谷川岳や日本アルプスで第一級クライマーへの道を突き進んだ。世界の屋根・ヒマラヤなど8000m峰への挑戦は10年間で16回に上った。1983年にネパール・ヒマラヤの中央にそびえ立



昭和25年(1950)～平成元年(1989)



のぼる

昇



つローツェ(8501m)とサガルマータ(=エベレスト、8848m)の秋・冬登頂に成功、1985年には世界第2位の高峰K2の無酸素登頂に成功、最初のハットトリック(1年間に8000m級の高峰を3度登ることを)を体験。世界5大陸の最高峰をたった135日間で登頂。さらに8000m峰14座全山完登を目標とし9座12回の登頂を果たした。1989年2月、冬のマッキンリー(6194m)に向かった山田らはキャンプから山頂に向かう中姿を消す。

